



平成28年10月28日

各位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
 代表者 代表取締役社長 八十島 清吉
 (コード番号 4242)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 林 延幸
 (TEL 0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月8日に公表しました平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,330	820	540	180	13.37
今回修正予想(B)	20,550	960	680	340	25.26
増減額(B-A)	220	140	140	160	
増減率(%)	1.1	17.1	25.9	88.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	22,446	△151	△330	△328	△24.39

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,820	1,150	760	340	25.26
今回修正予想(B)	42,950	1,770	1,300	580	43.09
増減額(B-A)	△1,870	620	540	240	
増減率(%)	△4.2	53.9	71.1	70.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	46,272	843	523	△384	△28.58

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、概ね前回発表数値通りに推移する見通しではありますが、損益面では、構造改革計画の対応方針にある「即効性のあるコストカット」及び「効率生産体制の確立及び不良削減」の活動成果等により、営業利益は前回発表の820百万円を17.1%上回る960百万円、経常利益は前回発表の540百万円を25.9%上回る680百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表の180百万円を88.9%上回る340百万円の見通しとなりました。

また、通期の売上高は、当初の想定為替レートに対して円高で推移していることによる邦貨換算の減収影響等により、前回発表の44,820百万円を4.2%下回る42,950百万円の見通しとなりました。損益面では、下期の減収影響等を見込むものの第2四半期(累計)連結業績見込を踏まえ、営業利益は前回発表の1,150百万円を53.9%上回る1,770百万円、経常利益は前回発表の760百万円を71.1%上回る1,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の340百万円を70.6%上回る580百万円の見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上